

日本物理学会・男女共同参画推進委員会活動報告

日本物理学会(森 初果・東大物性研・hmori@issp.u-tokyo.ac.jp)

Recent Activities of Gender Equality Promotion Committee in the Physical Society of Japan

The Physical Society of Japan (Hatsumi MORI •ISSP, the University of Tokyo •hmori@issp.u-tokyo.ac.jp)

The recent activities of Gender Equality Promotion Committee in the Physical Society of Japan have been reported (<http://k2.sci.u-toyama.ac.jp/triangle/index.html>). (1) As the educational program to the next generation, the committee members have joined and supported the summer camps for junior-high and high-school students. (2) As for the international activity, the 3rd AAPPS (Association of Asia Pacific Physics Societies) Workshop on Women in Physics has been organized, where “positive action and networking” have been discussed. (3) In the annual symposium of the Physical Society of Japan, the presentation and the discussion about “Diversity and Physics” have been carried out.

日本物理学会(JPS)の全会員数はこの7、8年一定であるのに対して、女性研究者比率は、28年前の2%から留まることなく緩やかに上昇して、現在約5.5%となり、女子学生比率も10.5%と増加している(図1)。しかしながら、理工系が目標とする30%にはまだ遠い状況である。今後さらに、多くの女性研究者が活躍し、多彩な人材により、物理学がますます発展するよう、2002年に発足した男女共同参画推進委員会が行っている活動を紹介します。

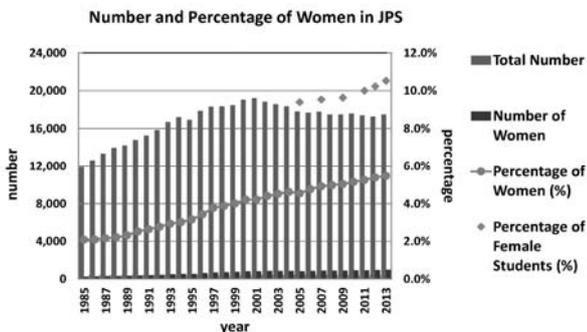


図1 日本物理学会の女性会員数とその割合

活動内容

(1) 次世代教育—女子中高生夏の学校

国際交流で、韓国の物理学会が高校生のサイエンスキャンプを行っているのに刺激を受け、物理学会の鳥養らの提案により、2005年に「女子中高生夏の学校」がスタートしてから本年で9年目となる。物理学会も、2013年度、実験「大気を測ろう」、ポスター「不思議な原子核の世界」、演示実験「超電導で磁気浮上」、女子中高生と留学生の国際交流を行った。(興治文子、小田原厚子、鳥養映子、中山敦子、長谷川修司、森初果、湯浅富久子、龍田、岩村)

(2) 国際交流

2013年7月14-19日に幕張で開かれた第12回アジア太平洋物理会議(APPC12)の5日目、18日(木)の午後、国際ワークショップ Women in Physics を開催した。10カ国55名が参加し、「ポジティブアクション」と「ネットワーキング」について活発な情報、意見交換を行った(永宮正治、笹尾真実子、森 初果)。

(3) 学協会連絡会活動

2012年11月に実施された第3回のアンケート調査で、1600名の物理学会会員が回答した。第2回のアンケートについても、動物学会と生物物理学会と共同で、ワークライフバランスについて解析を行い、興味深い結果を得ている(江尻晶)。また、連絡会会議への参加(小形正男、江尻晶)し、2012年度連絡会シンポジウムでも、女性リーダーの育成(田島節子)、男女共同参画の取り組みの成果と今後の展望(江尻晶)、キャリア形成のためのコツは何か?(笹尾真実子)、パネル討論I: 男女共同参画学協会連絡会10周年記念(阪東昌子)で講演を行った。

(4) 物理学会年会シンポジウム

毎年春の日本物理学会年次大会で、シンポジウムを企画して討論している。2012年度は、「ダイバーシティ(多様性)と物理」というテーマで、「男女共同参画におけるダイバーシティ(上瀧恵里子)」、「国際化におけるダイバーシティ(フラナガン・ジョン)」、「学問におけるダイバーシティ(福山秀敏)」について、講演をいただき、パネルディスカッションを行った。

(5) 広報 日本物理学会誌(嘉規香織)とHP

((<http://k2.sci.u-toyama.ac.jp/triangle/index.html>) 栗本 猛)に、活動内容を掲載した。